

各 位

会社名 株式会社 構造計画研究所
 代表者名 代表取締役社長 服部正太
 (JASDAQ・コード4748)
 問合せ先 執行役員(本社管理ユニット長)
 奥村光男
 電 話 03-5342-1141

平成17年6月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年6月29日に発表いたしました平成17年6月期(平成16年7月1日~平成17年6月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成17年6月期通期業績予想数値の修正(平成16年7月1日~平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成17年6月29日発表)	9,500	420	30
今 回 修 正 予 想 (B)	9,473	462	7
増 減 額 (B - A)	26	42	22
増 減 率	0.2%	10.0%	74.5%
前 期 (平 成 1 6 年 6 月 期) 実 績	8,877	274	82

2. 修正の理由

本年4月26日付で発表いたしましたとおり、当社が昭和62年から平成2年にかけて設計監理を実施した厚木市のスポーツ施設「ふれあいプラザ」の一部について、当社の設計瑕疵により耐震基準上の耐震性能が不十分であることが判明いたしました。これに対し、当社は、市民の安全を最優先に考え、耐震基準に適合するような補強工事を行うべく、当社の費用負担において早急に補強工事を実施いたしました。

一方、当社では、設計瑕疵に起因する万一の事故に備え、建築家賠償責任保険を付保しており、当該保険により補強工事費用の大半をカバーできるものと見込んでおります。これにより業績への影響を最小限に抑えるよう、これまで保険会社との間で協議を続けてまいりましたが、最終的な保険金額の確定には、未だ時間がかかる見込みであり、当該保険金収入を当期の決算に反映することが難しい状況となりました。

このため、本日開催の取締役会において、上記補強工事費用66百万円のみを当期の特別損失として計上し、当該保険金収入は今後の保険金額の最終確定を待って、次期の特別利益として計上することを決定いたしました。

最近の業績の動向等を踏まえた平成17年6月期の業績予想では、経常利益は462百万円となり、昨年8月25日に発表した経常利益の予想額420百万円を上回ることとなりますが、上記設計瑕疵関連の特別損失のみを当期決算に計上することにより、当期純利益は7百万円となりました。

このような理由により、本年6月29日に確定拠出年金制度の導入による特別損失の計上に伴って修正発表した当期純利益の予想額30百万円との差異が生じる結果となったものであります。

以 上